

「NO！と言ってみよう」小6学級活動(7月)授業実践プログラム2

1 題材設定の理由

(1) 活動内容・項目

- ☆ 主たる内容・項目
 - 〈(2) 日常生活や学習への適応及び健康や安全に関すること〉
 - 心身ともに健康で安全な生活態度の形成
 - 望ましい人間関係の育成
- ★ 関連する内容・項目
 - 〈(1) 学級や学校の生活の充実と向上に関すること〉
 - 学級や学校における生活上の諸問題の解決

(2) 題材設定の背景及び児童の一般的な実態と現状

未成年における喫煙・飲酒・薬物の乱用は、子どもの心身の健康と人格の形成に重大な影響を及ぼし、大きな社会問題となっている。

背景には、人に迷惑をかけなければ何をしてもいいという個人意識の変化や罪の意識の希薄化、自制心の低下、薬物等が簡単に入手できる環境、保護者の世代が自分の子ども時代もやっていたとする意識の甘さなど、大人社会の問題もあり、低年齢化を助長している。

薬物等に関する指導については、知識・理解が増えただけでは意識や行動の変容といった防止の効果を十分にあげることができないため、薬物等の問題を自らの問題として捉え、主体的に判断できる学習を小学校の段階から継続的に取り組む必要があると考える。

今回は、「薬物等乱用の最大の予防は教育である」との考えからライフスキルの手法を取り入れ、人から薬物等を勧められた場合にははっきりと断るスキルを身につけ、自分を守り、誘惑に対して毅然とした態度でNOと言える自分づくりの一環としてこの授業を進めたい。

(3) 指導法・指導上の留意点

- ① ライフスキル教育(※1)の手法を用い、ロールプレイや意志決定スキル等の演習を通して、単に知識を得るだけではなく、ライフスキルを獲得することによって、より望ましい行動変容を実現できるようにする。
- ② 一時的な体験に終わらせることなく、今後も「どのように生きるか」「どのようによりよく生きるか」について継続的に様々な学習をし、「日常の活動」につなげていけるようにする。

※「知識を行動に活かすための教育法で、ライフは、生命、生活、人生等の意味を包括した概念。スキルは行動の技能、実践力を意味する。WHOは今日的健康教育の展開に関する主軸としている。」

2 指導目標

- (1) 人から喫煙・飲酒・薬物等を勧められた場合には、はっきり断ることが大切であることを理解できるようにする。
- (2) 明らかによくないこと・ルールに反していることを勧める相手に対しての具体的な断り方を考えることができるようにする。

3 指導計画

(1) 事前・事後指導

- 〈事前指導〉—学級活動等 ; 薬物等によってもたらされる健康への影響や様々な問題について正しく理解し、危険や誘惑から身を守るための心構えをつくる。
- 〈本時〉—学級活動 ; 「NO！と言ってみよう」の授業を実施する。
- 〈事後指導〉—朝の会等 ; 学習したことを様々な場面で(家庭・地域・学校での行事等)で話し合い、上手に断る例について理解を深める。

(2) 教科指導等との関連

道徳や保健体育(健康教育)等で活用を図り、ライフスキルの定着を図る。

4 指導案
(1) 指導過程

本時のねらい	① 人から喫煙・飲酒・薬物等を勧められた場合には、はっきり断ることが大切であることを理解できるようにする。 ② 明らかによくないこと・ルールに反していることを勧める相手に対しての具体的な断り方を考えることができるようにする。		
展開	活動の内容	指導上の留意点	評価・資料
導入 (5分)	1 本時のねらいを理解する。	○ 初回使用のきっかけが、友達や先輩からの勧誘、おもしろそうだという好奇心等の理由であることを知り、本時では、人から喫煙・飲酒・薬物等を勧められた時に断る方法について学ぶことを確認する。	【評価1】
展開 (35分)	2 演習を行う。 (1) 喫煙を勧められた場面 ① なぜ断るのが難しいと思われるのか理由を考える。 ② 勧める相手に対して断り方(セリフ)を考える。 ③ 二人組でロールプレイをする。 ④ 感想等を発表する。 (2) 万引きを勧められた場面 ① なぜ断るのが難しいと思われるのか理由を考える。 ② 勧める相手に対して断り方(セリフ)を考える。 ③ 二人組でロールプレイをする。 ④ 感想等を発表する。 (3) NOといえる自分について振り返る。	○ まず、個人の中で考えさせることで、真剣に自分自身の問題としてとらえさせる。 ○ 理由を考えていく中で、関係を崩してしまう恐れや自分の中での自信のなさ等が意志決定を揺るがす要素となることに着目させる。 ○ 断り方にもいろいろあることを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ① 「いやだ」「だめだめ」とはっきり言う。 ② 相手の言うことが本当か冷静に考えつつ、理由(体・心・人間関係等への影響)や思っていることをはっきり言う。 ③ 相手にもやめるように説得する。 </div> ○ NOということは、自分を守ることであり、結局は自分も相手も大切にすることにつながることを確認する。 ○ 明らかによくないこと・ルールに反していることを勧められた場合に置き換えながら考えさせる。	◇ ワークシート① 【評価2】 ◇ ワークシート② 【評価2】
まとめ (5分)	3 本時のまとめをする。活動を振り返り、気付いたことや思ったことを「ふりかえりカード」に書く。	○ 今後も「どのように生きるか」「どのようによりよく生きるか」について様々な場面で考えてみるよう促す。	【評価3】 ◇ ふりかえりカード

(2) 評価計画 (評価の観点)

評価1	関心・意欲	○ 本時のねらいと進め方を知り、意欲的に取り組もうとしたか。
評価2	思考・判断	○ 勧める相手に対して断る方法について具体的に考えることができたか。
評価3	知識・理解	○ 人から喫煙・飲酒・薬物等を勧められた場合は、はっきり断ることが大切であることを理解できたか。

5 プログラムの展開例

- ◆ 活動場所 教室
- ◆ 準備物 「きみならどうする?のワークシート」①②(裏表に印刷)
「ふりかえりカード」

□ 導入 (5分)

- 1 本時のねらいを理解する。



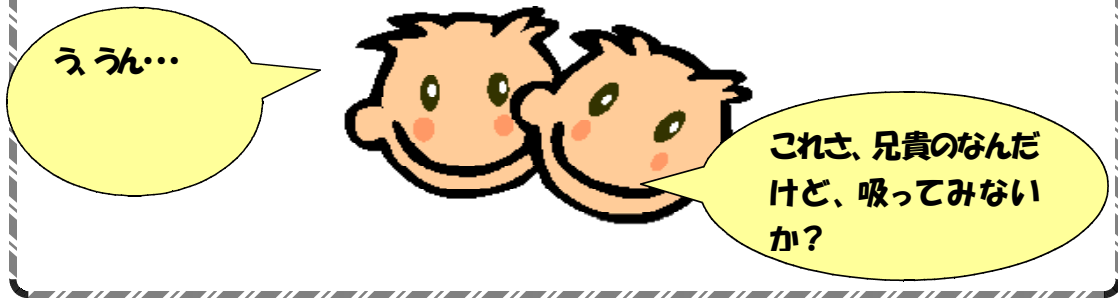
今日は、ライフ(生活)スキル(技能・技術)を勉強するよ。知っているのと知らないのでは違うよ。中学生・高校生になっても大人になっても、今しっかりと身に付けておけば、自分を守れるんだよ。

□ 展開 (35分)

- 2 演習を行う。

(1) 喫煙を勧められた場面

C君とD君は大の仲良しです。C君は、家に帰る途中でした。後ろから声をかけられて振り向くと仲良しのD君が立っていました。



① どうして断りにくいのかな?

- ◇ いつも一緒だから、断るともう遊んでもらえない。
- ◇ 断るといじめられるかも。裏切りと思われる。
- ◇ 一度は、ちょっと吸ってみたいから。(好奇心)
- ◇ 悪いと分かっているけど、友達の誘いだからこそ、断れない。
- ◇ 吸っている人がいるから。

② 断り方を考えてみよう。



<< D君のセリフ >>

- ◇ 「やだよ。お母さんに怒られるよ。警察に捕まったら、お父さんお母さん悲しむよ。」
- ◇ 「ばかやろう。タバコは20歳からだ。絶対やめたほうがいいよ。まだ、未成年だよ。」
- ◇ 「いくら仲がいいからって、そういうことには付き合えないよ。体に悪いし、吸うのはやめたほうがいいぞ。」
- ◇ 「病気になっちゃうからダメだよ。ガンになるかも。寿命が縮むかも。自分の健康のためにも絶対よくないよ。」
- ◇ 「一回吸ったらまた吸いたくなってやめられなくなるんじゃないかな。だから、やめたほうがいいよ、絶対！」
- ◇ 「いくら親友でも悪いことは悪いんだ。絶対吸わない。」

③ 二人組でロールプレイをする。

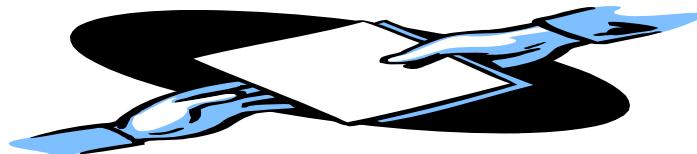


**ダメ！絶対ダメ！
子どもが吸うのは
犯罪なんだよ！！**

吸ってみないか？

(2) 万引きを勧められた場面

本屋さんでTさんは、好きなマンガ本を夢中になって読んでいました。そこへ、中学校の先輩のJさんがやってきました。二人は幼なじみです。



Jさん : 「Tちゃん、そのマンガ、だれも見えてないし、もらっちゃえぼ。」
Tさん : 「えっ??……………」

① どうして断りにくいのかな？

- ◇ 先輩で、幼なじみだから。逆らったら失礼だから。あこがれの人だから。
- ◇ 断ったら、やばいと思うから。何されるかわかんないから。口をきいてくれなくなるかも。先輩には、逆らいたくないから。
- ◇ マンガが、けっこう高いから。お金が今、苦しいから。普通に買うと、けっこう馬鹿になんないから。自分がほしいから。もらいたいから。
- ◇ 別にいいかなと思うから。1回ぐらいやっても見つかんなかったらやってもいいかな。
- ◇ 中学行く前に、目をつけられるから。

② 断り方を考えてみよう。



先輩だから…
走って逃げちゃおうかな！

理由をはっきり
言えばいいんだ。
万引きは犯罪ですって。

<< Tさんのセリフ >>

- ◇ 「だめですよ。防犯カメラも回ってるし、見つかったら、つかまっちゃいます。」
- ◇ 「すみません。僕警察に捕まって親に心配かけたくないんです。」
- ◇ 「そんな冗談やめてください。自分で買えますから。」
- ◇ 「ダメダメ絶対ダメですよ。ダメですって！！」
- ◇ 「そんなことしたら、親が悲しむし、迷惑をかけるから私はやりません。」
- ◇ 「私、先輩にとっても憧れていたのに残念です。幻滅です。私は、やりません。」
- ◇ 「犯罪で捕まったら、ばれて内申書も下がるし、高校受験も大学進学もできなくなるかもしれませんよ。いいんですか？お断りします。」

③ 二人組みでロールプレイをする。



誰も見ていないし、
もらっちゃえば

先輩、見損ないました。
がっかりです。
憧れてたのに…。

(3) NOと言える自分について、振り返る。

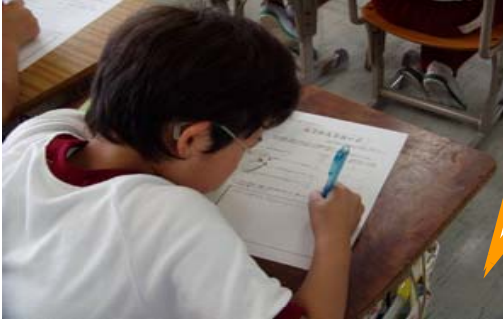


NOということは
自分を守ること
になるんだよ

結局は、自分も相手も
大切にすることにつな
がっていくよね。

□ **まとめ (5分)**

3 本時の活動を振り返り、気付いたことや考えたことを、「ふりかえりカード」に書き、本時のまとめをする。



- A : 断り方についていろいろ知ることができたと思う。また、なぜ断りにくいのが分かった。
- B : 子どもでも大人でも悪いことは断る。それが、人間の基本だと思う。
- C : もし本当にたばこを吸ってみないかなどと誘われたら勇気をもって断りたいと思う。

6 児童の反応

(1)「ふりかえりカード」から



- 今日のような断り方やいけないこと、犯罪についての授業ははじめてです。自分でその気持ちになってみると返事しにくい感じになりました。
- やってはいけないことをはっきり断るということは、とても大切で、そうしなくてはいけないということが分かりました。いくら先輩でもがんばって断れば、先輩だって分かってくれるはず。

○ 今までのままだったら、誘われたらやってしまったかもしれないけれど、今日の授業で断る自信がついたように思う。

○ もし、こんなことが夏休み中に起こったらきっぱり断ります。また、今後のために、よく覚えておきます。

○ いけないことを誘われても、自分で悪いことだと思ったら、ちゃんと断って相手にもダメだよというようにしたいと思った。誘った人にも注意することを心がけたいと思った。

○ 「たばこ」「万引き」の他にも悪いことはあります。中学校に行ったら、こんなことがありそうなので、この勉強を役立てたいです。その時、ちゃんと断ろうと思います。

○ 友達だからといって甘やかすのではなく、ダメなときはダメだよと注意してあげられるくらいちゃんとしなくちゃなと思った。まずは、自分から振り返ってみようと思う。



7 授業者・参観者の感想、授業改善の視点

○ いけないことだと分かっているけど、誘われるとやってしまうことは、子どもの生活の中で意外に多いと思われる。今回のようなスキルをやることにより、反省も含めて誘われてもNOと言える姿勢が大切であることに気付いてくれたらと思う。

○ 二つの場面提示は、身近な問題なので、子どもたちも状況をとらえやすかったようだ。しかし、「自分も吸いたくなるかも」「自分もマンガ本がほしい」などの反応や嫌われたくないなどの理由で断れないかもしれないなどの本音もきかれてよかった。気になる子は、個別に対応したい。

○ 子どもたちなりに、断る理由があり、子どもの心の動きが分かった。振り返りカードは、自分の心を見つめる時間として必要であり、自分の考えを正直に書くことができていたと思う。

- ペアは同性同士で、抵抗の少ない形態を取っていた。スムーズにロールプレイに入っていくための配慮が素晴らしいと思った。また、子どもたちは、ずいぶんこの形に慣れているように感じた。
- 今回は、「喫煙」「万引き」の場面を取り上げられたが、予防的な観点から「薬物」「飲酒」「決まりやルール破り」等、学級や学年の実態によって様々な場面設定が可能であると思った。応用範囲は広い。
- 2つの場面があるので、どちらかにウエイトをかけていくと、時間的な問題もクリアされるのではないか。1つめの場面は、練習として押さえ、2つめの場面を確かめる要素を加味して、他のものにも応用できるようにすると広がりが出てくると思う。学級の決まりやルールに関しても、活用できそうである。
- 演習に時間がかかってしまい、振り返る時間にしわ寄せがいったが、振り返りカードに書かせることにより「NOと言うことの大切さ」を感じ取らせることができたと思う。
- 導入の仕方によって、あるいは、視点の置き方によって、その後の展開の部分も変わってくるおもしろさがあり、いろいろと工夫できる余地がある。
- 薬物に関してだったら、スクールキャラバン等と組み合わせてもできるのではないか。

8 関連プログラム・参考文献等

◇ 関連プログラム

- ・「人間関係をつくる力を育てる指導援助プログラム（小・中・高等学校編）」
福島県教育センター教育相談チーム編

◇ 参考文献

- ・「喫煙・飲酒・薬物・性などの課題に対応 実践からはじめるライフスキル学習」
大津一義著 東洋館出版社
- ・「^{生きるちから}ライフスキルを育む喫煙防止教育」学習材と授業のすすめ方
J K Y B研究会 川畑徹朗 西岡伸紀編著

ふりかえりカード

6年 組 番 氏名

1 今の自分の気持ちに一番近いものを一つ選び、数字を○で囲んでください。

その通り ほぼ あまりその その通り
 その通り 通りではない ではない

① 今日の活動に意欲的に取り組むことができた。 4 3 2 1

② 断りにくい理由について、考えることができた。 4 3 2 1

③ 断り方について、知ることができた。 4 3 2 1

④ これから何かあったらはっきり断れそうだと思う。 4 3 2 1

2 今日の授業（活動）をふりかえって、感じたことや考えたこと、今の気持ちなどを自由に書いてください。